

令和6年産水稻の生育状況について（7月10日現在）

- 古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は67.1cm(平年比109%)、1㎡当たりの茎数は683本(平年比110%)、葉色はGM値^{※1}が35.6(平年差-2.9)、葉数は10.7枚(平年差+0.3枚)となっている。幼穂^{※2}長は1.8mm(平年差-0.2mm)となっており、平年並の7月7日に幼穂形成期^{※3}に達したとみられ、出穂期は7月31日と予想される^{※4}。
- 葉色が低下しているほ場では、必要に応じて追肥を行う。
- 出穂前から出穂後30日頃までの期間は、稲が最も水を必要とする時期であるため、土壌を湿った状態に保つ「飽水管理^{※5}」を行う。

- ※1 GM値：葉に含まれている葉緑素量の測定値。栄養状態を把握するもの。
- ※2 幼穂（ようすい）：茎内部で作られる「若い穂」。
- ※3 幼穂形成期（ようすいけいせいき）：幼穂が1mm以上の長さになった時期。出穂（しゅつすい：穂が出ること）の25日前頃。
- ※4 出穂期の予想：古川アメダスの気温データを用い算出したもの。7月10日までは令和6年度の実測値を、11日以降は過去5カ年の平均値を使用。
- ※5 飽水管理（ほうすいかんり）：田面が浸るくらいに入水し、水田にある足跡に水がなくなる頃を目安に入水する水管理方法。必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

2 具体的データ

(1) 生育調査結果（古川農業試験場 ひとめぼれ）

移植日	草丈			茎数			葉色			葉数			幼穂長		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)
5月10日	67.1	98	109	683	100	110	35.6	-2.5	-2.9	10.7	-0.2	0.3	1.8	-0.2	-0.2

【参考】

県内品種別（古川農業試験場及び各農業改良普及センター調べ）

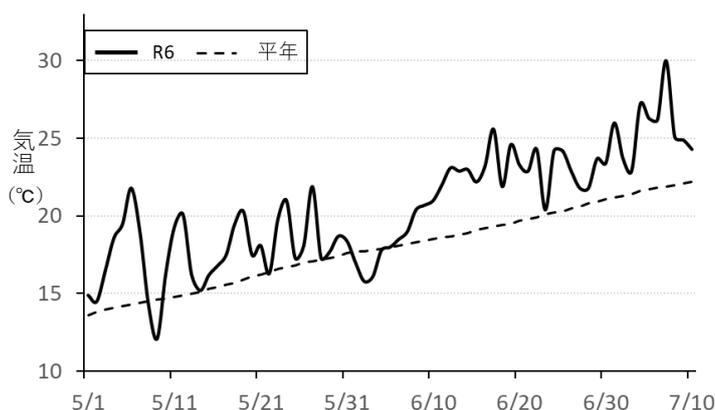
品種名	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
ひとめぼれ	66.0	99	104	507	101	96	39.5	1.0	-1.1
ササニシキ	63.5	101	105	556	99	92	39.3	0.2	0.6
つや姫	66.1	99	109	471	87	90	39.0	-2.6	-3.8

移植時期別（ひとめぼれ、古川農業試験場及び各農業改良普及センター調べ）

移植時期	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)
5/1~9	70.5	103	108	544	102	97	37.6	-1.3	-3.5
5/10~19	64.5	96	104	482	99	96	40.6	2.9	0.8
5/20~31	61.2	95	97	579	98	100	40.2	-0.1	-2.4

(2) 平均気温の推移及び旬別の気象データ（仙台アメダス）

平均気温の推移（仙台アメダス）



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
5月	17.8	2.2	82.0	74%	235.6	123%
月上旬	16.8	2.5	1.5	5%	75.2	121%
月中旬	17.9	2.7	46.0	121%	70.8	118%
月下旬	18.6	1.6	34.5	79%	89.6	129%
6月	21.5	2.3	93	65%	198.7	138%
月上旬	18.4	0.3	58.0	173%	52.8	88%
月中旬	23.2	4.1	9.0	18%	97.5	222%
月下旬	23.0	2.7	26.0	43%	48.4	122%
7月 月上旬	25.7	3.9	46.5	75%	27.9	73%

※次回は出穂状況の調査結果を7月下旬に発表予定です。